

2018年度自然災害科学中部地区研究集会プログラム
会場: 静岡大学

【第1セッション】司会:原田賢治(静岡大学)

時刻	演題	著者	ページ
10:00 ~ 10:15	胆振東部地震による地殻変動と地盤の液状化	○石川有三 (産総研・招聘研究員)	2
10:15 ~ 10:30	御前崎における隆起貝層の発見-1361年の正平(康安)-南海地震」とペアをなす「1361年の正平(康安)-東海地震」が発生した証拠	○北村晃寿 (静岡大学理学部)	4
10:30 ~ 10:45	東海地域の歪み観測網と地震観測網の性能評価: 短期的ゆっくり滑りや微小地震を検知する能力を評価した試算	○楠城一嘉(静岡県立大学グローバル地域センター・静岡大学防災総合センター)	6
10:45 ~ 11:00	静岡県地震対策史の作成と地震対策の特徴	○木下智章(静岡県危機管理部危機情報課) 原田賢治(静岡大学防災総合センター)	8
11:00 ~ 11:15	<休憩>		
11:15 ~ 11:30	かさねるハザードマップからみた西日本豪雨災害における被災傾向	○浅井悦嗣 (元名古屋市立大学大学院経済学研究科研究員)	10
11:15 ~ 11:30	都道府県による人的被害情報の収集状況について	○石塚隆之 (千葉県県土整備部), 牛山素行 (静岡大学防災総合センター)	12
11:30 ~ 11:45	地域防災活動の持続可能性に関する調査	○秦康範(山梨大学地域防災・マネジメント研究センター) 高橋直也(元山梨大学工学部土木環境工学科)	14

- ・1題あたりの発表時間は、15分(本人発表時間が10分、質疑討論時間が5分)です。
- ・発表会場には、パソコン、液晶プロジェクターを用意する予定です。各自パソコンを持ち込んでいただいても差し支えありませんが、発表前に接続できることを確認しておいてください。
- ・著者2名以上の場合、著者名の一部を省略しています。